

讚美歌 326

聖書 イザヤ書 60 : 19,20

式のことば あなたの光を増し加えよ、内なるイエスの光を抱き

恵泉の主イエス・キリストに感謝し、御名を賛美いたします。163 名の卒業生のみなさん御卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お嬢様の御卒業を心よりお慶び申し上げます。また、御来賓の方々この喜びの日に、共にご証人となって下さり感謝申し上げます。

昨年クリスマス、恵泉に素晴らしいプレゼントが送られてきました。トラックで運ばれてきた重さ 1 トンの贈り物は、何だったと思いますか。それはウニの殻でした。送り主は、宮城県南三陸町歌津の漁師の方々からです。貝殻は砕いて畑に撒くと、土の酸性度を中和して、植物が育つための豊かな土壌となるのだそうです。

あなたがたが中学 2 年生になろうとしていた、2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が起こりました。余震と放射性物質の放出が危惧され、登校が禁止されました。年度末の通知書は、郵送で各自の家庭に送られました。あれから、5 年が経過しました。今月の末には 6 回目になる被災地支援プロジェクトが行われます。今日の卒業生も 13 名参加します。私は 2012 年の春、第 2 回に参加しました。第 1 回から大変お世話になり、今回のウニの殻を送ってくださったのは、来賓で来られている高橋七男（シチオ）さんです。4 年前私たちは、高橋さんの案内で、被災地の状況を見学させていただきました。鉄骨がむき出しになった南三陸町の防災庁舎、北上川流域にある児童 74 名と教師 10 名を失った大川小学校。多くの命を学校の判断の遅れと誤りで失った場所です。学校側の状況判断の甘さが指摘されました。私たちは、多くを学ばさせていただきました。危機管理体制を見直し、フェロシップホールだけでも、パイプオルガンを耐震化し、天井からの落下物を防ぐためにネットを取り付け、いざという避難時に混乱を防ぐため、各座席の背もたれに避難出口に対応した色付きのシールを貼りました。年 2 回行われる避難訓練は、火事と地震が起きた場合を想定し行っています。

津波の傷跡が残る南三陸町歌津では、もう泣けるだけ泣いちゃった

から、あとは笑うだけだよ、と言って多くの方々の笑顔に出会いました。私たちが掲げている「支援する」とは、何とおこがましい言葉だと感じました。お手伝いさせていただいて、また、数知れぬ恵みを被災地の方から受け取りました。多くの愛を示していただきました。目で見ることが出来る愛、耳で聞くことが出来る愛、手で触れることが出来る愛です。観念的な愛が、体の五感を通して、具現化される経験でした。聖書では、愛は、与えることだと教えているではありませんか。私たちは、今もなお多くのことを学ばさせていただいています。しかし、戦後最大の死者と行方不明者を出したこの災害から、完全な復興には至っていません。愛する肉親を失い心の傷が癒されない方々、生まれた故郷に戻れない方々が多くおられます。

1929年「戦争は、婦人が世界情勢に関心を持つまでは決してやまないであろう。それなら、若い人たち-それも、少女たちから始めることである。」創立者、河井道先生の言葉です。恵泉女学園の創立の理念は、非戦による世界平和です。

今の政府は積極的平和主義を、軍事力を背景とした国際協力で平和を作るという考え方で使っています。しかし、恵泉の生徒は、既に知っていることですが、単に戦争がないという、消極的平和主義に対して、積極的平和主義とは、貧困、抑圧、差別のない状態をいうことです。河井先生の目指す平和は、このような平和であったことは、先生の生き方、そして、恵泉女学園の創立以来の歩みの中にはっきりと現れてきます。

グローバル化という言葉も頻繁に耳にします。グローバル化という言葉も、注意しなければいけません。捉え方によって、世界の見方、価値観が変わります。今日、世界の20%の人々によって、世界の80%の富が占有され、残りの20%の富を世界の80%の人々が奪い合っている。だから、日本は富を占有できる勝者としての20%になろう、としています。教育さえこのような人材を生み出すことが使命であるように、言われています。経済的な勝者となるべくするグローバル化です。これでは、貧困、抑圧、差別のない状態をなくすばかりか、格差を広げるばかりです。日本だけ良ければという、考え方で良いのでしょうか。恵泉女学園の卒業生は、これでいいのでしょうか。

聖書には、特別な弱者である4種類の人々のことが書かれています。ゼカリヤ書7章10節にある、保護者のない孤児（みなしご）、生計を得る伴侶をなくしたやもめ、祖国から離れ異国の地に住んでいる在留異国人、そして貧しい人々です。

今日的な状況に照らし見れば、このような人々に加え、故郷を捨て安住の地を求める世界各地の難民の方々や、国内に目を向ければ、先ほどお話しした3.11以後、大変なご苦労をなさっている被災した人々も含まれるでしょう。グローバル化という世界観の隅に追いやられた人々ではないでしょうか。

恵泉の主である神様は、このような人々に、このようにしなさいと、聖書から私たちに語りかけます。エレミヤ書22:3です。

主はこう仰せられる。公義と正義を行ない、かすめられている者を、しいたげる者の手から救い出せ。在留異国人、みなしご、やもめを苦しめたり、いじめたりしてはならない。また罪のない者の血をこの所に流してはならない。

聖書は、弱い立場にある人々を大切に扱いなさい、と教えています。それらの人々は私たちの隣人だからです。隣人を愛することは、正しいことであり、神様を愛することにつながるからです。

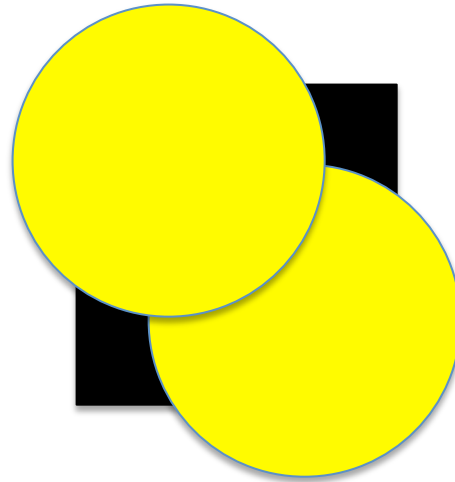
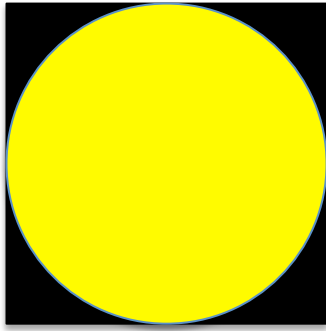
恵泉で一番初めに覚えた暗唱聖句を覚えていますか。

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」ルカによる福音書7章12節

世界の隅に追いやられた人々に光を当て、寄り添うことを大切にする、自分の世界では学べなかった事を学ばせていただく、という世界の見方があってもいいはずです。経済の力ではない、人の愛と絆の力を信じるグローバル化です。

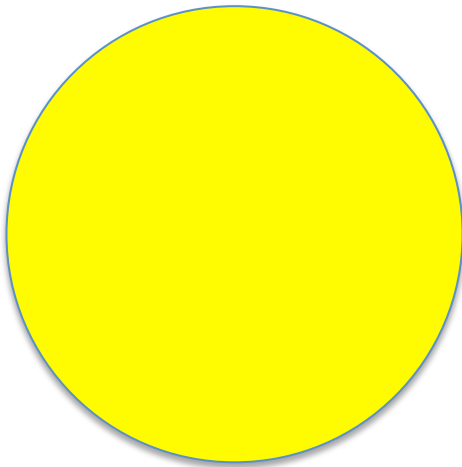
今年卒業する6年生の修養会のテーマは、光でした。あなたが世界に愛の光で寄り添うことを考えてみましょう。あなたの周りの世界を1辺が20cmの正方形だとします。この正方形は今は暗闇です。あなたは、半径10cmの範囲を照らすろうそくだとします。ろうそくを正方形の中心に置きます。四隅にいる人々に光が届きません。1本のろうそくを正方形のどこにおいても、光の照らさない部分が生まれます。もう1本のろうそくを灯してみましょう。2本をどこにおいても、暗闇の世界は無くなりません。3本でも、この世界を覆いつくすことはできないのです。

しかし、あなたは、自分の非力を嘆くことはないのです。自分の光の弱さに失望することもないのです。



あなたの光の中心に、もう一本のろうそくの光が増し加わったとします。光の量は、ろうそく 2 本の時と同じです。しかし、あなたの内に 2 倍となった光は、 $1+1=2$ の平方根、ルート 2 倍の範囲を照らすことができるのです。

あなたは、 $10\text{cm} \times \sqrt{2} = 14.14\text{cm}$ 、 14cm を超えた半径を持つ光となります。この光は正方形を完全に覆うことができるのです。



今日の聖書の箇所です。

イザヤ書 60 : 19,20

: 19 太陽は再びあなたの昼を照らす光とならず
月の輝きがあなたを照らすこともない。
主があなたのとこしえの光となり
あなたの神があなたの輝きとなられる。

:20 あなたの太陽は再び沈むことなく
あなたの月は欠けることがない。
主があなたの永遠の光となり
あなたの嘆きの日々は終わる。

太陽があなたの光とならなくともよい。月があなたの光とならなくともよい。主イエス・キリストがあなたの光、輝きとなることができるのだから。その光は、あなたの沈むことのない太陽となり、あなたの欠けることのない月となる、という御言葉です。

あなた方が覚えた最後の暗唱聖句、同じイザヤ書 41 章の 10 節。暗唱は、文語体でしたが、新共同訳では、このようになります。

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。

たじろぐな、わたしはあなたの神。

勢いを与えてあなたを助け

わたしの救いの右の手であなたを支える。

イエス様の光は、あなたのうちに働いてあなたの光となるのです。

イエス様からの光をいただくと、あなたの光は増し加わるのです。

今日の讃美歌の 5 節

ひかりにあゆめよ、さらば消えぬ

ひかりのみかみは ころろにまさん。

卒業の時、河井道先生はこのように言われました。「汝の光をかがやかせ」。あなたの光を世界に輝かすために、今、恵泉女学園から旅立ちです。卒業おめでとう。